

(対井野官房長)

5月21日(火) 衆・財務金融委 宮本 徹君 (共産)

問1 「桜を見る会」の招待者数如何。

(答)

(関係の行政文書が保存されている) 平成26年以降についてお答え申し上げますと、

- ・平成26年は、約12,800人、
- ・平成27年は、約13,600人、
- ・平成28年は、約13,600人、
- ・平成29年は、約13,900人、
- ・平成30年は、約15,900人、
- ・平成31年は、約15,400人 である。

【参考1】

○参加者数 (会の終了後に公表済み。)

- 平成26年：約13,700人、平成27年：約14,700人、
- 平成28年：約16,000人、平成29年：約16,500人、
- 平成30年：約17,500人、平成31年：約18,200人

【参考2：桜を見る会について】

- ・第1回は、昭和27年、吉田総理が開催。
- ・今回(平成31年4月)で64回目の開催。
- ・昭和35年(安保騒動)、平成7年(阪神・淡路大震災)、平成23年(東日本大震災)及び平成24年(北朝鮮による「衛星」打上げ)を除き、毎年開催。
- ・民主党政権下の平成22年にも開催。

(対井野官房長)

5月21日(火) 衆・財務金融委 宮本 徹君 (共産)

問2 招待者及び参加者が増えている理由如何。恣意的に招待しているのではないか。

(答)

桜を見る会には、外交団、国会議員、都道府県知事・議長をはじめ、各界において功績・功労のあった方々を、各府省庁からの意見等を踏まえ幅広く招待しており、内閣官房及び内閣府において最終的に取りまとめているところ、結果的に招待者及び参加者が増えたもの。

(注) 仮に「具体的に〇〇さんは招待されているか。」を問われた場合、従来から、個人に関する情報であることを理由に、答弁を差し控えている。

更問1 どのように招待者を取りまとめているのか。

(答)

内閣官房及び内閣府から、各省庁に事務的に照会した上で、取りまとめている。

【更に、招待状は、どのようなルートで出しているのか、と問われた場合。】

(答)

各省を経由して発送いただくなど、最も効率的と考えられる方法で、招待者のお手元に届くようにしている。

更問2 誰が招待者を最終的に決定しているのか。

(答)

1. 招待者については、内閣官房及び内閣府において事務的に取りまとめ、招待状をお送りしている。

2. 事務的な業務であり、事務方の責任で取りまとめている。(責任者については、内閣官房は内閣総務官、内閣府は大臣官房長である。)

更問3 開催要領の招待範囲にある「その他各界の代表者等」以外のカテゴリーは、例年、数があまり変わらないと考えられることから、「その他各界の代表者等」が増えているのではないか。

(答)

「その他各界の代表者等」以外のカテゴリーの人数が、例年、あまり変わらないのはご指摘のとおり。

更問4 各省庁からの推薦者数は増加しているのか。

(答)

招待者とりまとめの過程における詳細なプロセスに関するご質問については、回答を控えさせていただきます。

【更に、なぜ答えられないのか、と問われた場合。】

(答)

今後の招待者のとりまとめ作業に支障が生じることのないようにするためである

更問5 招待者の中には、総理や与党が推薦する者も含まれているのか。

(答)

1. 招待者については、「桜を見る会」開催要領に基づき、各界において功績・功労のあった方々について、内閣官房及び内閣府において最終的に取りまとめているもの。
2. 総理に対しては、各年度において、秘書官から、日時や当日の次第など会の概要について説明していると承知している。

更問6 虎ノ門ニュースご一行のように、安倍総理の支持者と見られる人たちが多数来場しているが、どのような功績・功労のある者なのか。

(答)

個別の方については、招待されたかを含め個人に関する情報であるため、回答を差し控えさせていただきます。

いずれにしても、「桜を見る会」開催要領に基づき、各界において功績・功労のあった方々について、内閣官房及び内閣府において最終的に取りまとめているもの。

更問7 具体的な選考基準や選考過程を明らかにすべきではないか。

(答)

「桜を見る会」開催要領に基づき、各界において功績・功労のあった方々について、内閣官房及び内閣府において最終的に取りまとめているもの。

更問8 各省庁からしか推薦を受けていないのか。

(答)

各省庁からの意見等を踏まえ幅広く招待しており、内閣官房及び内閣府において最終的に取りまとめているもの。

更問9 各省庁からの推薦者に加えて、内閣官房や内閣府で独自に付け加えているのか。

(答)

招待者とりまとめの過程における詳細なプロセスに関するご質問については、回答を控えさせていただく。

更問10 官邸からの意見（推薦）は、内閣官房からの意見（推薦）に含まれているのか。

(答)

招待者とりまとめの過程における詳細なプロセスに関するご質問については、回答を控えさせていただく。

更問11 各省庁に対し、推薦基準や推薦人数枠を示しているのか。

(答)

各省庁には、「桜を見る会」開催要領以外には、一律の基準はお示ししていない。

(参考1)「桜を見る会」開催要領

「桜を見る会」開催要領

平成31年1月25日(金)
内閣官房
内閣府

- 1 期日 平成31年4月13日(土)
- 2 場所 新宿御苑
- 3 主催 内閣総理大臣
- 4 方法 招待者は、当日午前8時30分から午前10時30分までの間、随時入園
参観する。
この間、来会者のために、茶菓の接待をする。
(なお、当日の新宿御苑は、招待者以外の方については午前10時30分
から開園する。)

- 5 招待範囲 皇族、元皇族
各国大公使等
衆・参両院議長及び副議長
最高裁判所長官
国務大臣
副大臣及び大臣政務官
国会議員
認証官
事務次官等及び局長等の一部
都道府県の知事及び議会の議長等の一部
その他各界の代表者等
計 約 1万人

6 服装 平服

- 7 その他 豪雨、その他諸般の事情により中止する必要があると認める場合、内閣
官房長官が決定する。
(1) 中止の場合も、当日午前10時30分までは、新宿御苑を招待者のた
めに開放し、茶菓を供する。
(2) 小雨のときは、決行する。

(参考2) 平成30年1月30日 衆・予算委における総理答弁

〈ジャパンライフ山口会長（特定商取引法違反容疑で、本年4月に家宅捜索を受けた）を招待していたことについて〉

(大西健介委員) 〈希望の党(当時)。現在は国民民主党〉

(略)

それから次の資料は、総理主催の桜を見る会、この招待状と受付票、さらには安倍総理の写真も載っていますけれども、「安倍晋三内閣総理大臣から山口会長に「桜を見る会」のご招待状が届きました。」と。

安倍内閣の重要閣僚や自民党ナンバーツーの人と会食をしていて、そして総理から桜を見る会にも招待されている、そういう立派な人がやっているから大丈夫だろうとって、おじいちゃん、おばあちゃんがころっとだまされるということは、私は不思議じゃないだろうというふうに思います。

ぜひ、今、弁護団の行っている電話相談には、首をくくるしかないとか、もう死ぬしかない、こういう悲痛な声が寄せられています。これらをごらんになって、総理、どのようにお思いになりますでしょうか。

(安倍内閣総理大臣)

桜を見る会につきましては、毎年、一万三千人ぐらいの方々に、これは私の名前で招待状を出しているわけでありましたが、当然、私自身は存じ上げる方ばかりではもちろんないわけでございます。(略)

(参考3) 令和元年5月13日(月) 衆・決算行政監視委員会 (対 宮本徹君(共))

(菅官房長官)

(略)

また、この桜を見る会は、昭和27年以来、内閣総理大臣が各界において功績、功労のあった方々を招き、日ごろの御苦勞を慰勞するとともに、親しく懇談される内閣の公的行事として開催をしているものであり、必要な経費については予算から先ほど言われましたように支出しているということでもあります。

(宮本委員)

功勞、功績といたしますけれども、「虎ノ門ニュース」の皆さんがどういう功績があったのかわからないですけれども、安倍内閣になってから、それまで1万人前後であったのが1万8200人にふえているわけですよ、参加者が。

功勞を上げた人が急にふえた、政府の基準からいって、そういうことですか。

(海江田委員長)

答弁は。(宮本委員「官房長官です」と呼ぶ)

菅官房長官。指名していますから。(菅国務大臣「先に、では」と呼ぶ) もう時間がありません。時間が過ぎておりますので、手短に。

(菅官房長官)

いずれにしても、各省からの意見を踏まえて、幅広く招待をさせていただいているということでもあります。(略)

(対井野官房長)

5月21日(火) 衆・財務金融委 宮本 徹君 (共産)

問3 支出額が予算額を上回った分に一般共通経費を活用することは、問題ではないか。

(答)

先日お答えした「桜を見る会」に係る経費は、(項)内閣本府共通費、(目)庁費の内数であり、当該費目の予算を超過した予算の執行は行っていない。効率的な予算執行のため、国会の議決を経た区分の範囲内で予算を活用しているところであり、問題ではないと考えている。

(参考1)

・「一般共通経費」

内閣本府の場合、「(項)内閣本府共通費(事項)内閣本府一般行政に必要な経費」として計上しているもので、特定の政策分野(例えば経済財政政策、地方創生支援、科学技術・イノベーション政策等)に紐づく経費ではなく、所掌事務全般を遂行する上での一般的な事務を処理するための経費である。

具体的には、桜を見る会に係る経費を含む「(目)庁費」のほか、「(目)職員基本給」などの人件費、大臣官房部局が所掌する有識者会議への出席のための「(目)委員等旅費」などを計上している。

・「庁費」

備品費、印刷製本費、雑役務費等、官署の事務遂行上必要な物の取得、役務の調達等の目的に充てる経費として区分された予算科目。
桜を見る会に係る経費は、「(目)庁費」であるが、「(項)内閣本府共通費(目)庁費」には、このほかに、例えば、みどりの式典の開催に必要な経

費や、法規集の作成のための経費等を予算計上している。

(参考2)

「桜を見る会」のように、予算額を上回る経費がかかるものがある一方、入札の結果や計画の変更などにより、結果的に必要経費が予算額を下回ることとなるものもあり、効率的な予算執行のため、国会の議決を経た区分の範囲内で予算を活用しているもの。

(単位：千円)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
予算額	17,180	17,666	17,666	17,666	17,666	17,666	17,666
支出額	－(注1)	30,053	38,417	46,391	47,250	52,290	未確定

(注1) 桜を見る会に係る行政文書の保存期間は5年であることから、平成25年の支出は確認できない。

(注2) 予算書の保存期間は10年なので、予算額については平成25年度分も確認できる。

(参考3) 内閣本府共通費のうち庁費の予算額と歳出額の推移

(円)

項 目		予 算 額	歳 出 額
内 閣 本 府 共 通 費			
庁 費	平 25	2,967,337,000	2,681,265,019
	平 26	2,926,632,000	2,533,945,715
	平 27	3,566,824,000	2,945,631,495
	平 28	4,086,935,000	2,963,003,695
	平 29	2,719,538,000	2,194,918,846

※桜を見る会の経費は、庁費に含まれる。

※各年度の「内閣府所管歳出決算報告書」より抜粋。

なお、同報告書は、平成29年度のものが最新。

(参考4) 令和元年5月13日(月) 衆・決算行政監視委員会 (対 宮本徹君(共))

(宮本委員)

菅官房長官にも、お忙しい中、来ていただきました。

総理主催の桜を見る会についてお伺いします。

この参加者は、第二次安倍政権の前は1万人前後でございましたが、近年急増しております。ことしは1万8200人、2万人近くになっています。経費も急増しております。

契約情報を見ましたら、桜を見る会の飲食物の提供業務、2013年は972万2千円、会場等設営業務は、2013年、734万7450円でした。

それぞれの2019年の契約額は幾らでしょう。

(井野政府参考人)

お答えいたします。

2019年、平成31年の桜を見る会におけます会場等設営業務の契約額は1814万4千円、飲食物提供業務の契約額は2191万3232円となっております。

(宮本委員)

ですから、2013年と比べれば、会場の方は倍以上ですね、730万から1800万ですから、1100万円ぐらいふえているわけですね。飲食物提供業務というのは、972万が2191万ですから、倍以上にふえているということです。

これ以外に、当然、案内状の発送だとか、あと、お土産を配っていますよね、升を配っていますね、お土産というのかわかりませんが。さまざまな経費がありますが、この桜を見る会の総経費について、予算計上額と実際の支出額について、2013年度から2019年度まで教えていただけますか。

(井野政府参考人)

お答え申し上げます。

桜を見る会のまず予算額でございますけれども、平成25年度が1718万円でございます。平成26年度から今年度までにつきましては、いずれも同じ額でございます、1766万6千円でございます。

一方、支出額でございますけれども、この支出額につきましては、桜を見る会に係る行政文書の保存期間が5年間であることから、平成25年の支出額は確認できません。したがって、平成26年以降をお答え申し上げますと、平成26年は3005万3千円、平成27年は3841万7千円、平成28年は4639万1千円、平成29年は4725万円、平成30年は5229万円でございます。

なお、本年につきましては、まだ現時点で支払いが完了していないため、現時点では未確定でございます。

(宮本委員)

予算を積んでいる額は、今のお話では、2013年は1718万円、2014年以降ことしまで1766万円。支出を聞いたら、3千万円、それから3800万、4600万、4700万、5200万と。ことしはもっとふえていると思います。

予算よりも支出が多いじゃないですか。これはどこからお金がでてきているんですか。

(井野政府参考人)

お答えいたします。

桜を見る会につきましては、準備、設営に最低限必要となる経費を前提に予算を計上しているところでございます。

他方、実際の開催に当たりましては、その時々的情勢を踏まえまして必要な支出を行っておりまして、例えば、金属探知器の設置等のテロ対策強化でありますとか、参加者数に応じた飲食物提供業務経費などがございまして、結果的に予算額を上回る経費がかかっております。

このように、支出額が予算額を上回った分につきましては、内閣府本府の一般共通経費を活用することにより経費を確保しているところでございます。

(宮本委員)

情勢によってとかいって招待客をどんどんどんどんふやして、予算にもないようなお金をどこかから流用してつかっているという話じゃないですか。とんでもない話じゃないですか。しかも、招待客の基準が全く不透明なんですよね。

安倍政権を応援している「虎ノ門ニュース」というネット番組があるそうです。レギュラー出演している方がブログに書いておられますが、いつも招待をもらっていたが、ことは例年と異なり、ネット番組「虎ノ門ニュース」の出演者全員でというお招きだったので、虎ノ門ファミリーの皆さんとともに参加しましたと書いてあります。

こうやって政権に近い人をどんどんどんどん呼んで参加人数が膨らんで、予算にもないような支出がどんどんどんどんふえているという話じゃないですか。

こういう支出のふやし方というのは、官房長官、国民の理解は決して得られないんじゃないですか。

(菅官房長官)

桜を見る会については、準備、設営に最低限必要と考えられる経費を前提に予算を計上しているところであり、来年度以降についても、これまでの計算上の考え方、実際の支出状況などを踏まえつつ対応していくことになるだろうというふうに思います。(略)

更問 枱の配布を止めるなど支出額を抑える努力をすべきではないか。

(答)

前年に余った封筒を翌年に使用したり、同種の契約を集約したりするなどにより、支出を減らす努力を行ってきたところ。

(参考)

※過去の削減事例

- ・余った封筒の翌年使用《約21万円。平29》
- ・同種の契約（接遇給仕人関係）の集約《約7万円。平31》

※枱については、従来から招待者に対し、記念品として配布している（平成31年調達数量 20,000個）